

柳 下 洋 一

色鮮やかな紅葉の時期も駆け足で通り過ぎ、朝夕の冷え込みが一段と厳しくなってまいりました。これからはクリスマスやお正月等楽しみな行事が沢山あるとともに日本人が昔より大切にしてきた様々な学びが出来る年末年始の行事があります。大掃除、年始を迎える準備、年始の挨拶、初詣、お年玉、鏡開きなどがあります。子どもたちにとって学び多い年末年始にしてほしいと願っています。

さて、話題は変わりますが、2025年度は12月22日が冬至となります。冬至と言えば南瓜と柚子湯が定番ですね！柚子を入れたお風呂に入るのは風邪をひかないため、南瓜が冬至の日の食べ物なのは運盛りの語呂合わせとはかねてより知られている由来ですが、調べてみると冬至にはもっと深い理由がありました。冬至は二十四節気の一つ。二十四節気は季節の移り変わりを知るためのもので、約15日間ごとに24に分けられています。二十四節気は約15日間の期間ですが南瓜や柚子湯などの行事を行う冬至の日は、冬至に入る日を指しています。冬至の日がいつかというと、固定ではなく毎年変動し、12月21日ごろにあたります。二十四節気は1年を太陽の動きに合わせて24等分して決められているので、1日程度前後することがあるそうです。また冬至は1年で最も日が短いと言うことは、翌日から日が長くなっていくということで冬至を太陽が生まれ変わる日ととらえ、古くから世界各地で冬至の祝祭が盛大に行われていました。中国や日本では、冬至は太陽の力が一番弱まった日であり、この日を境に再び力が甦ることから、陰が極まり再び陽にかえる日という意味の「一陽來復」といって、冬至を境に運が向いてくるとしています。つまり、みんなの運が上昇に転じる日と言われています。このように日本古来からの伝統行事、記念日には様々な意味がありこれからも大切にして子どもたちに伝えて行きたいものです。今年も一年園に対しましてご理解、ご協力いただき感謝申し上げますとともに令和8年が皆様にとりまして輝かしい一年となりますように祈念申し上げます。